

令和4年度 森林環境譲与税の用途について（伊賀市）

事業名	事業費 (千円)	内容	実施面積等	総括
森林経営管理意向調査業務委託	3,300	森林経営管理法に基づき、経営管理権集積計画対象森林の森林所有者に対し、当該集積計画対象森林についての経営管理の意向に関する調査を行う。	意向調査 307.11ha	<p>令和4年度は、昨年度に引き続き未整備協定林の整備事業、境界明確化事業、伊賀産材ブランド化事業補助金を継続して実施した。</p> <p>また、行政及び林業事業者等で構成する、伊賀市未来の山づくり協議会の伊賀市負担金の支出を行った。当協議会では、森林作業道整備事業補助金制度案を策定した他、DIY木材を扱う市内製材所パンフレットの印刷・配布、店舗内装への木材利用アンケート調査、地域団体による魅力創造事業、林業の担い手育成の検討等が実施された。</p> <p>新たな取組としては、他財源を基に伊賀市で実施してきた「緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金」について、補助対象期間が限られていたことから、この課題を解決するため、補助対象期間外の期間を対象とした緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金を森林環境譲与税を財源として実施した。その他事業として、市が所管する施設の整備等を地域産材を用いて実施した。</p>
未整備協定林整備調査業務委託	4,180	市、森林所有者及び林業事業者で環境林として協定を締結しているが未整備となっている山林の適正な管理を目的とした間伐施業を行うための調査業務を行った。	標準地調査 180.75ha	
未整備協定林整備業務委託	44,537	市、森林所有者及び林業事業者で環境林として協定を締結しているが未整備となっている山林の適正な管理を目的とした間伐施業を実施した。	間伐施業 145.86ha	
伊賀市未来の山づくり協議会負担金	2,694	森林整備・人材育成・担い手の確保・木材利用の促進や普及啓発の取り組みを進めていくことを目的とした伊賀市未来の山づくり協議会の伊賀市負担金を支出した。	—	
森林境界明確化事業補助金	11,513	森林境界明確化等の地域活動を行う者が、市との協定に基づき行う森林境界明確化に要する経費を補助した。	境界明確化 232.05ha	
伊賀産材ブランド化事業補助金	928	伊賀産材のブランド化を目指し、市内出荷及び利活用の促進を図るため、市内の森林を伐採して市内の原木市場や製材所等へ原木を出荷する者に対して補助金を交付した。	出荷材積 1855m <sup>3</sup>	
緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金	1,490	伊賀市内の森林の適正な管理を推進し、森林の持つ多面的機能を持続させるため、間伐作業をされる森林所有者の方等に補助金を交付した。	間伐本数 5,299本	
芭蕉翁関連施設改修事業 (文化交流課)	3,818	芭蕉翁生家の木塀が老朽化していたため、地域材を用いて改修工事を行った。	木塀 約27m <sup>2</sup>	
歴史的風致維持向上計画進捗管理事業 (文化財課)	368	歴史的風致維持向上計画の重点区域である島ヶ原地域の案内看板を、地域材を用いて作成し設置した。	島ヶ原地域	
移住・交流推進事業（地域創生課）	40	伊賀市おためし移住施設の登録証を伊賀産材を用いて作成した。	—	
合計	72,868			